

「ベーブ・ルース投手」の野球カード

ホームランバッターとして有名なベーブ・ルース選手が、大リーグにデビューした当時は投手だったのをご存知でしょうか？ 1914年7月11日、ボストン・レッドソックスの左腕投手として初登板し、初勝利しています。レッドソックス時代は主に投手でした。右の写真はそんなルース投手の野球カード（タテ7.5cmヨコ4.1cm）です。1916年にスポーティング・ニュース社から出た200枚セットの中の一枚です。1916年は23勝12敗、17年は24勝13敗と活躍。さらに、18年は13勝7敗で本塁打王！ 19年は9勝5敗で本塁打王と打点王！と投打に活躍し、1920年にヤンkeesに移籍。その後は打者として大活躍しました。

レッドソックスは、ルースをトレードした後にワールドシリーズ優勝がないため、長い間「バンビーノ（ルースのニックネーム）の呪い」と言われていました。2004年に86年ぶりに優勝し、やっと呪いが解けたようです。

1934年ヤンkeesでの最後のシーズン後、日米野球で来日。ルース人気で各球場は満員となりました。この時対戦した全日本を中心に大日本東京野球倶楽部（現読売ジャイアンツ）が結成され、現在の日本プロ野球のスタートにつながっています。翌35年はボストン・ブレーブス（現アトランタ・ブレーブス）に移りますが、6月1日に引退。大リーグ通算714本塁打（レッドソックスで49本、ブレーブスでも6本）ですが、投手としても通算94勝しています（レッドソックスで89勝、ヤンkeesでも5勝）。



ベーブ・ルース投手（1916年）